

## 池袋キャンパス教室 AV 設備（震災の影響と総括）

### 1. 震災の影響

2011 年度は 3 月 11 日の東日本大震災のために、以下の影響があった。

① 工事の遅れ・・・春期工事のマキムホールに予定されていた資材が被災地で製造されていたことや、機材の流通がストップしたことで、材料の納品が大幅に遅れた。さらに余震の恐れから、工事の一時中断を余儀なくされた。そのため、完成まで 1 か月近く遅れた。

② 教室設備への影響・・・設備が倒壊、落下、破損したりする障害はなかった。しかし 4 号館 4 階は建屋自体の損壊から、天吊しているプロジェクターの再調整が必要となった。

③ 前期授業開始の延期・・・約 1 か月遅れで開始されたため、4 月は教室利用がほとんどなかった。

④ 新学期の行事支援・・・すべて中止された。入学式は規模を縮小して卒業式同様、外部業者による撮影、ネット配信した。その際総長室からの依頼で、業者との調整および音響調整を行った。学会等の授業外サポートが減少したが、震災関連の行事は執り行われた。

また、新座一池袋間や、池袋内での配信の依頼が増えた。

### 2. 教室設備

春期工事でマキムホールが竣工した。それによって、操作卓教室が 5 教室増えた。夏期工事では 11 号館の改修が行われ、3 階研究室が 4 つの一般教室になった。しかし、本館耐震工事およびロイドホールの建設がスタートしたので、本館 12 教室および 10 号館 1 教室は減少した。また、本館に残っていたブラウン管モニタータイプの AV ラックはすべてなくなった。

教室録画の要望が高まっているのに応え、8 号館教材準備室への映像配信システムを強化した。それによりこれまでの 8 号館に加えて、マキムホールおよび 11 号館（一部）の教室カメラの撮影映像を 8 号館教材準備室に伝送し、カメラコントロール、録画、編集ダビングすることが可能となった。特にマキムホールからの映像は 2 画面合成が可能となり、講演者のパワーポイント等の資料も鮮明に残すことができるようになった。

カードキーおよびタッチパネルは、新設および改修された操作卓および簡易操作卓教室を対象に展開し、10 教室増加した。既設教室での利用者の意見や反応を参考に、今年度タッチパネルの改良を加えた結果、マキムホールは新設にもかかわらず、利用者からの問い合わせやクレームは少なかった。

2011 年の地デジ化をみすえて、春に教室の DVD を地デジ対応に入れ替えた。メディアの多様化で当初は若干の混乱はあったが、CPRM 対応策は一応とれた。

### 3. 支援状況

AV 機器貸出しおよびサポートは、授業が 1 か月少なかったにもかかわらず、これまでで最高となった。

要因はシンクライアントの教室 PC の不具合が第 1 に挙げられる。教室 PC 設置で昨年はいったん貸出しが減少したが、今期は PC が起動しないトラブルが多発したため、かえって予備の PC 設置が多くなり、貸出数が増加する結果となった。

第 2 の要因は、ビデオカメラおよび IC レコーダーの貸出しが増加したことである。

ビデオカメラは英語のディスカッション授業、キャリアセンターと学部がタイアップした授業等で定期利用があった。また教室内カメラ設置教室の増加とともに、録画希望が増加した。

IC レコーダーが、カセットレコーダーに代わって録音の主流となった。